

役に立てるなら、これからも

人権擁護委員法務大臣表彰受賞

高橋 幸三さん

10月5日、法務省で人権擁護活動に尽くされた人権擁護委員の法務大臣賞の表彰が行われ、県内では3人が受賞。北上市から高橋幸三さん(72歳・さくら通り)が受賞されました。

人権擁護委員は、国民の基本的人権が侵されることのないよう監視し、もし侵犯された場合は、その救済のために適切な処置をとり、常に人権尊重の理念の普及高揚に努めることを使命とし、地域に密着した活動を行っています。

高橋さんは、長年にわたる活動の顕著な功績が認められたの受賞です。

平成12年に市から推薦され「自分のような者でも役に立つのであれば」と引き受けた高橋さん。以来、花巻地方法務局と市役所でさまざまな相談を受けてきました。

相談には、誰にも悩みを相談できない人が来るので責任を感じ、いい加減なことは言



えないといろいろ勉強、専門的なことは、専門家にうまくつなげられるよう「相談窓口」となつて続けてきました。

「相談を受ける際は、相手が何のために来て何を望んでいるのか、とことん話を聞く。ただし、同情や同調は控え物事を平等に見ています。そして、相談者が自ら考えるように心掛けています」

相談者が「相談して良かった」と思ってもらったときには特にうれしく、やりがい

を感じてきました。

受賞した時は「立派なことをしてきたつもりもないので、このような賞をいただいているものか」と悩んだそうです。

人権擁護委員は75歳で定年。後数年ですが「気楽にやってきたので、やり尽くしたという気はない。健康で、役に立てるなら、これからも続けていきたい。今の時代はふれあいが必要。今の時代はふれあいが欠けている。地域のコミュニケーションが大事」と心に迷いはありません。



国際交流ルーム発

ハロー! まいふれんど 125

学校に行けない子どもたち

世界には「学校に行けない子どもたち」は何人ぐらいいるのでしょうか。グローバル モニタリング レポート2010によると、アジア、アフリカ、南アメリカなどに7,200万人もいるそうです。

その子どもたちのために国際交流ルームでは、先月行われた遊・YOU学園祭の中で「インターナショナル・チャリティ・フリーマーケット」を開催しました。フィリピン、インドネシア、タイ、チュニジア、中国など外国人ボランティアと協力し外国の物品を販



外国人ボランティアと楽しく「みつろう」のキャンドル作り体験

売、「みつろう」のキャンドル作りの体験、学校に行けない子どもの様子をパネル展示で紹介し、収益の一部、15,000円を国際協力機構(JICA)を通じて世界の「学校に行けない子どもたち」のために寄付しました。

誰でも義務教育の機会が与えられている日本では考えられない数値でしょうが、この幸福な現状に感謝するとともに、開発途上国の子どもに目を向けて楽しいクリスマスと平和な2011年が来ることを願っています。

国際交流ルーム
電話・ファクス：63-4497
電子メール：kiah@kitakami.ne.jp
おでんせプラザぐろーぶ3階 生涯学習センター内
開館日：毎週月-土曜日 午後1時-7時
休館日：日曜・祝日、第3水曜日、年末年始



中央図書館 ☎ 63-3359
 江釣子図書館 ☎ 77-2215
 和賀図書館 ☎ 72-2322

きたかみ物産館

美しいおせちとおもてなし正月料理
 主婦の友社
 「B級グルメ」の地域ブランド戦略 関 満博
 親鸞と道元 五木 寛之
 ギターとたくあん 村松 友視
 ワンダフル・プラネット! 野口 聡一
 十二支のしりとりにえほん 高島 純
 哲夫の春休み 斎藤 惇夫
 くらしを変えてきたあかりの大研究
 深光 富士男



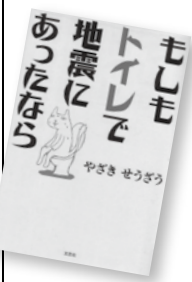
1箱(15枚入) 800円

北上の風物詩をPR
北上プリントせんべい

北上開発ビル管理(株)

大通り1-3-1
 ☎65-2811 FAX 65-2813

《12月の新着本から》



『もしもトイレで地震にあったなら』
 やざき せうざう 著
 文芸社 出版
 「生協の白石さん」と同じ大学の図書館で司書として35年勤務した著者が、図書館と温泉にまつわる、くすつと笑える話を綴ったエッセー集。



『まつり』
 いせ ひでこ 著
 講談社 出版
 たいこの音が、どろどろ、どこどこ、ひびきわたる。つぎつぎと屋台のちょうちんに、火がはいる。わらわらと、あかりをもった子どもたちがあつまってくる…。そして、まつりがはじまった!



佐藤 里香さん

北上の新しいお土産品に
 南部せんべいの表面に食紅などを使って、鬼剣舞の舞い手や展勝地の桜並木をプリント。風味を生かして、絵柄入り3枚のほかゴマ、大麦若葉、ミックスの三つの味を4枚ずつ盛り込んでいます。おでんせプラザぐるーぶの3店舗で販売。2枚の袋入りも販売予定です。

年末のアルバム整理
 日常処理すべき事務処理や片付けもの作業も放置して、まとめて処理する癖がついてしまい、机や棚の上は、本や雑物が乱雑に置かれている。気にはなっているけど、ここ数年毎年このことである。
 年末休みには、その一年間の写真を整理して、一冊のアルバムにまとめる。以前、部屋の模様替えで机や棚を整理していたら、数年放置されていた写真が数百枚出てきた。
 変色したり、くっついていたりして、懐かしい写真も記憶が薄れ時系列が不明で整理のしようがなかった。大事な写真も捨てざるを得なかった。良い思い出を捨てるのかと気になった。
 旅に出ると、思い出の薄れないうちに整理して、仲



間からマメだねと感心されるのに、なぜか普段の写真はしまい込んでしまう。
 その都度アルバムに張ればいいのだが、年に一度はと思った。
 一年間の写真の整理は意外と楽しい。一枚一枚、手に取り思い出に浸りながらの作業は時間が掛かってしまいが、一年間を振り返るわたしなりの忘年の作業でもある。
 孫たちの成長が見える家族写真、楽しかった旅と友人の笑顔、未知の場所を訪ねた研修、今年も期待通りに咲いた展勝地の桜や庭の草花、ひそかに可憐に花を付けてくれた山野草、数々のイベントや行事などに、一人うなずき満足しながら作業は進む。
 完成して一服するときのささやかな自己満足。今年も無事暮れたかと、改めて一人ページをめくる。
 年越しの夜は、妻とわたしが一年を振り返り、アルバムを見つつ「来年も思い年でありますように」と、思いのページを追加する。